

17. 業務分析・設計のための業務モデリング 実践トレーニング

1. 研修要領

- ・研修場所 オフィスメーション4F(確定)
- ・研修受講料 78,800円(税別)
- ・テキスト代 5,000円(税別)
- ・研修実施時間 21時間 9:30~17:30(7時間/日)
- ・研修実施日 H26年11月05・06・07日(水)・(木)・(金)
- ・講師 富士通九州システムズ講師:菊川 直之 氏
- ・定員 16名

2. 対象者

システム開発で顧客もしくは自社の業務モデリング、データモデリングを行う方。

3. カリキュラムの概要

複雑化するシステム要求を明確にするには、業務をモデリングして可視化する必要があります。そのモデリングには、業務の流れを可視化するプロセスモデリングと、業務で扱う情報(データ)の関係を可視化するデータモデリングがあります。本コースでは、両モデリング手法を実践する際の分析観点、手順、表記法を講義と演習によって学習します。また、最終的には、仮想システムに対してプロセス/データモデリングを実体験し、実践的な業務モデリングスキルを体得していただきます。

4. カリキュラムの詳細(21時間) 3日間

科目	時間	科目の内容
1. システム開発における業務モデリングの必要性	1.0	・システム開発における失敗の現象とその原因・対策 ・業務モデリングの概要
2. プロセスモデリングの観点、表記法、手順	9.0	・プロセスモデリングの観点 ・プロセスモデリングの表記法 ・プロセスモデリングの手順 演習問題1 現行業務フローの作成 演習問題2 新規業務フローの作成
3. データモデリングの観点、表記法、手順	7.0	・データモデリングの観点 ・データモデリングの表記法 ・データモデリングの手順 演習問題3 新規ERモデルの作成
4. プロセスとデータの整合性の確認	4.0	・プロセスとデータの整合性の確認とは ・CRUDマトリックスの作成方法 ・データから見たプロセスの整合性の確認方法 ・プロセスから見たデータの整合性の確認方法 演習問題4 CRUDマトリックスの作成
	21.0	

5. 使用教材

業務分析・設計のための業務モデリング 実践トレーニング(富士通ラーニングメディア)

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. システム開発における業務モデリングの必要性を理解する。
2. プロセスモデリングを行ううえで必要な分析観点、手順、表記方法を理解する。
3. データモデリングを行ううえで必要な分析観点、手順、表記方法を理解する。
4. 具体的な例をもとに業務モデリングを行い、業務の流れや扱う情報を整理することができる。

7. レベル

ITSS:アプリケーションスペシャリスト育成 - [*]システム要件定義技法【レベル: 2 - 3】

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名